



環境報告書 2015





繋げていく—社会へ、未来へ。

SMKは今年、創業90周年を迎えました。

長い歴史の中で培ってきた技術は、ヒトとヒト、ヒトとモノ、モノとモノの繋がりの中でより大きな付加価値を生み、発展的な未来の創出に貢献できるものと考え、「Creative Connectivity (もっと創造的に、もっと繋がる)」を経営戦略スローガンに掲げました。

SMKは今、世の中のニーズに積極的に目を向け「提案型」のモノづくりの強化を目指しています。高機能と環境性能は、対立関係ではなく共存関係にあることをイノベーションによって実現しようと取り組んでいます。企画・開発段階から、さらには流通を含めた生産・販売におよぶ一貫したサプライチェーンによって環境コストを抑制し、未来社会へ繋がる力を一層強めていくことが、企業市民としての「SMKの在るべき姿」です。

一方、昨年7月より稼働を開始したひたち事業所北茨城太陽光発電所など、クリーンエネルギー分野も注力している分野です。同太陽光パネルの要所にはSMKのコネクタが使われており、その性能を実地検証

しつつ、次世代の開発にフィードバックし、かつ新たな技術シーズを提案していくという二重三重のテーマを担っています。

海外に目を向ければ、各事業所に赴くとエコロジカルな製品づくりや地域への社会貢献活動を主体的に推進していると感じます。現地でのリサイクル会社の開拓、工場見学や植樹活動を通じた啓発活動、エコ事業所としての政府認証への取り組み、グリーン調達推進など、さまざまな活動で蒔いた種が育み、果実となっています。これは、社員一人ひとりの心に「環境憲章」が根付き、繋がった表れと言えるでしょう。

情熱を傾けひたむきに取り組むことで、ヒトとヒト、ヒトとモノ、モノとモノの繋がりが制度やシステムを洗練させていきます。そしてこの先に「SMKの在るべき姿」が広がっています。これからも豊かで発展的な未来に向けて活動を続けてまいります。

2015年 7月

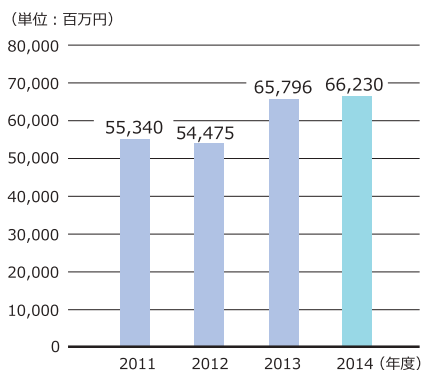
代表取締役社長 池田 靖光

トップメッセージ	1	省エネルギー・省資源への取り組み	5
会社概要	2	環境会計	6
環境マネジメント	3	トピックス 太陽光発電所 完成のご報告	7
2014年度環境保全活動総括	4	省エネルギー・省資源活動	7
マテリアルバランス	4	環境に配慮した製品づくり	9

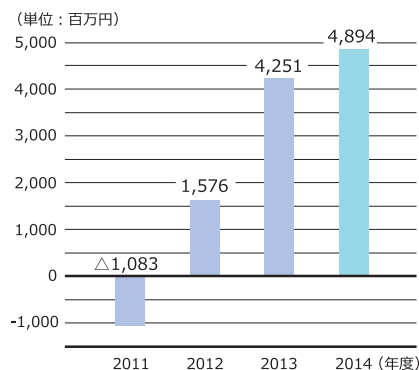
会社概要 (2015年3月31日現在)

商号 SMK株式会社
英文社名 SMK CORPORATION
創立 1925年(大正14年)4月3日
設立 1929年(昭和4年)1月15日
主な事業 電気、通信および電子機器その他産業機械、情報機器等に使用される各種電子機構部品の製造販売
資本金 7,996百万円
社員数 5,772名(グループ)
本社 〒142-8511 東京都品川区戸越6丁目5番5号 TEL.(03) 3785-1111(代表) FAX.(03) 3785-1878
 ホームページアドレス <http://www.smk.co.jp/>
主な製品 高周波同軸コネクタ/FPCコネクタ/基板対基板コネクタ/ジャック/リモコン/スイッチ/
 各種無線モジュール/カメラモジュール/抵抗膜方式タッチパネル/静電容量方式タッチパネル/
 光学方式タッチパネル

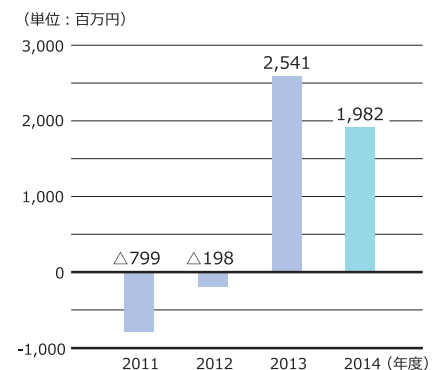
売上高(連結)



経常利益(連結)



当期純利益(連結)



本報告書について

対象期間 2014年度(2014年4月1日~2015年3月31日)

集計範囲 SMK株式会社(国内10拠点)および連結子会社(国内2社、海外17社)

CO₂排出量について 換算係数は、国内事業所は電気事業連合会に、海外事業所はGHGプロトコルに準拠します。

企業情報の入手方法 会社案内、IR情報、製品紹介、過去の環境報告書はSMKホームページで公開しています。
<http://www.smk.co.jp/>

〈問い合わせ先〉 SMK株式会社 環境室 TEL.(03) 3785-5058 FAX.(03) 3785-0517

環境マネジメント

SMKグループ環境憲章

1. 基本理念

SMKは良き企業市民として社員一人ひとりが地球規模で持続的発展が可能な社会に寄与するという自覚を持ち、総合的な高度技術により経済発展と環境保全の両立に努めます。

2. 行動指針

- (1) 環境にやさしい製品の開発をします。
- (2) 物を大切にし、廃棄物を減少させます。
- (3) 資源を大切にし、エネルギーを節約します。
- (4) 3R (リデュース・リユース・リサイクル) を推進します。
- (5) 無駄のない購入・生産をします。

環境保全推進体制

SMKの環境保全に関するグループの方針、目標、施策は環境担当役員を委員長とする「環境保全委員会」と、重要事項については執行役員会で審議、決定し、国内外の事業所に展開されます。各事業所ではグループの方針、目標、施策を受け、さらに固有の課題も取り入れて「事業所環境保全委員会」で事業所の方針、目標、施策を定めて活動を行っています。

環境マネジメントシステム

SMKの環境マネジメントシステムは国際規格であるISO14001に基づいており、国内の全拠点、海外の全生産事業所で認証を取得しています。

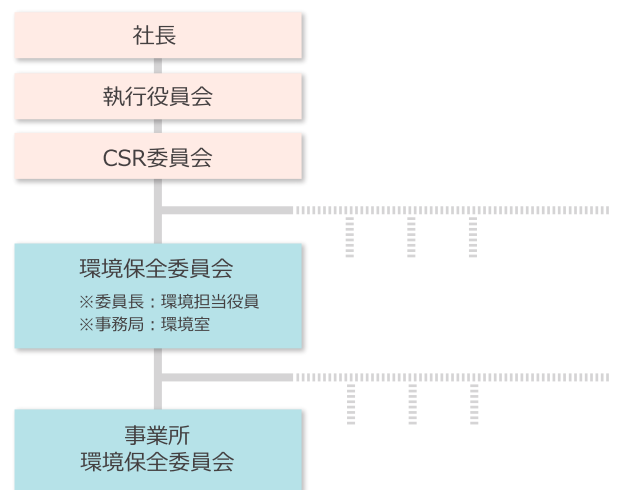
2007年度からは、各拠点での活動に加え、全グループ共通の目標、テーマを設定して拠点間のつながりを強化し、グループ全体のシステムの高度化を図ってきました。

また、環境保全活動はグループ内にとどまらず、2004年に初版を発行したグリーン調達ガイドラインでは、協力会社様にも活動推進をお願いしています。具体的には、SMKが禁止する環境負荷物質の不使用をお約束いただくとともに、ISO14001に基づく体制の構築をお願いしています。ISO14001の認証を取得されていない協力会社様に対しては、環境保全活動の実施状況を訪問して確認し、改善指導を行っています。



廃棄物処理委託会社の視察 (SMK本社)

環境保全組織



環境教育

環境教育は、グループ全体で実施している階層別教育や、専門教育のカリキュラムのひとつとして実施している他、各拠点でも年間計画を立てて実施しています。

また、東京商工会議所主催の「環境社会検定試験 (eco検定)」の取得を社員に推奨しています。部門における資格取得率5%以上の育成計画を立て、2006年の第1回試験から毎年受験者を募り、テキストの購入、受験料の負担などのバックアップをしています。



環境教育 (SMKフィリピン)

2014年度環境保全活動総括

SMKでは、国内外の全事業所において環境保全活動目標を制定し、目標の達成に向けた改善活動を推進しています。2014年度における主な活動目標と実績を下表に示します。

地球温暖化防止

CO₂排出量については、クリーンルームの増床により空調機及びその他付帯設備のエネルギー使用量が増えたことが主因により、生産高CO₂原単位、CO₂総排出量ともに目標は達成できませんでした。

今後は、エネルギー使用状況の見える化を促進し、効率の良いエネルギーマネジメントを実践することが課題です。

生物多様性保全

協力会社様向けの環境教育資料を改定し、ISO14001取得予定のない一部協力会社様に配布しました。

資源の有効活用

製造工程における“ムダ取り”活動の推進により、生産高廃棄物原単位、廃棄物総排出量ともに前年度よりも削減できましたが、総排出量の目標達成には至りませんでした。埋立処分量についても、リサイクル化を図りましたが目標は達成できませんでした。

環境関連物質管理の確実な対応

部材構成情報新システムの本格運用を開始しました。引き続き部品構成情報の管理強化、活用を図ります。

環境配慮設計の強化

製品アセスメントとエコ商品管理システムの統合に向け、管理システムの事前準備を行いました。

今年度は統合システム構築に向け検討を継続します。

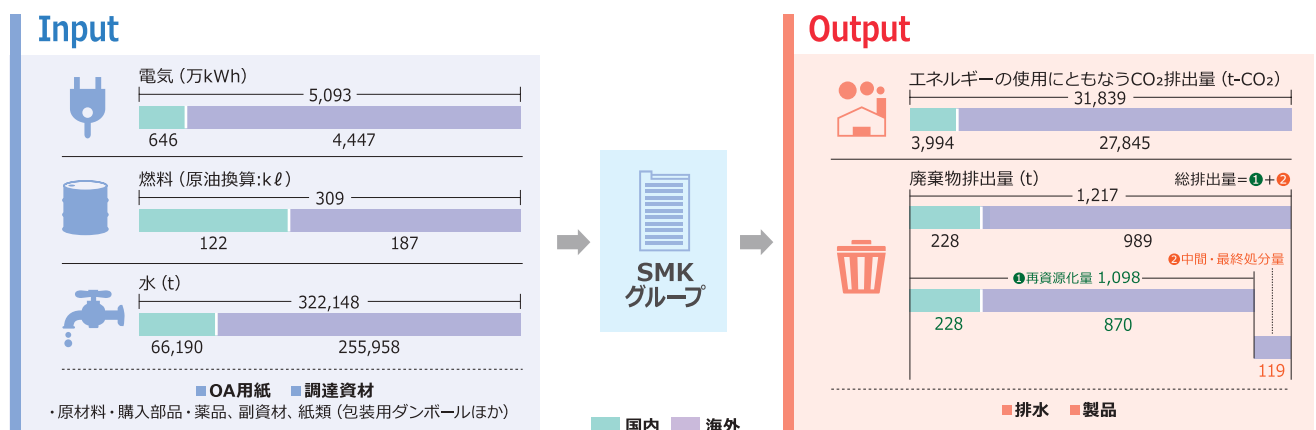
取り組み項目	2014年度		自己評価
	目標	実績	
地球温暖化防止	生産高CO ₂ 原単位*1を対前年度比4%削減 目標:0.48t-CO ₂ /百万円	6%増加 0.53t-CO ₂ /百万円	×
	CO ₂ 総排出量を対前年度比6%削減 目標:28,991 t-CO ₂	4%増加 31,839t-CO ₂	×
	エネルギーマネジメントシステムの導入検討	エネルギー使用状況把握システムの導入検討	△
	LCA (カーボンフットプリント含む) SMK基準の検討	業界基準を参考としたSMK基準によりスコープ3を試行実施	○
生物多様性保全	生物多様性保全を考慮した購買活動の検討	協力会社様向け環境教育資料を改定	△
資源の有効活用	生産高廃棄物原単位*2を対前年度比9%削減 目標:0.020t/百万円	9%削減 0.020t-CO ₂ /百万円	○
	廃棄物総排出量を対前年度比10%削減 目標:1,198t	9%削減 1,217t	△
	埋立処分量を対前年度比5%削減 目標:105t	8%増加 119t	×
環境関連物質管理の確実な対応	部材構成情報登録・EU-REACH規則対応システムの効率運用	管理システムを展開	○
環境配慮設計の強化	製品アセスメントのレベルアップ	製品アセスメントとエコ商品管理システムの統合を準備	×

*1: 生産高CO₂原単位 = CO₂排出量/生産高 *2: 生産高廃棄物原単位=廃棄物排出量/生産高

自己評価: ○目標達成 △不十分 ×目標未達成

マテリアルバランス

SMKでは製品の設計・開発、製造、販売などグループ全体の各プロセスにおける環境負荷量のマテリアルバランスを把握・解析し、低減化に努めています。



省エネルギー・省資源への取り組み

SMKでは、地球温暖化防止を重要な経営課題として、省エネルギー活動を強化・推進しています。また、廃棄物の抑制やゼロエミッション化（廃棄物埋立処分量ゼロ）を図り、資源の有効活用を目指します。

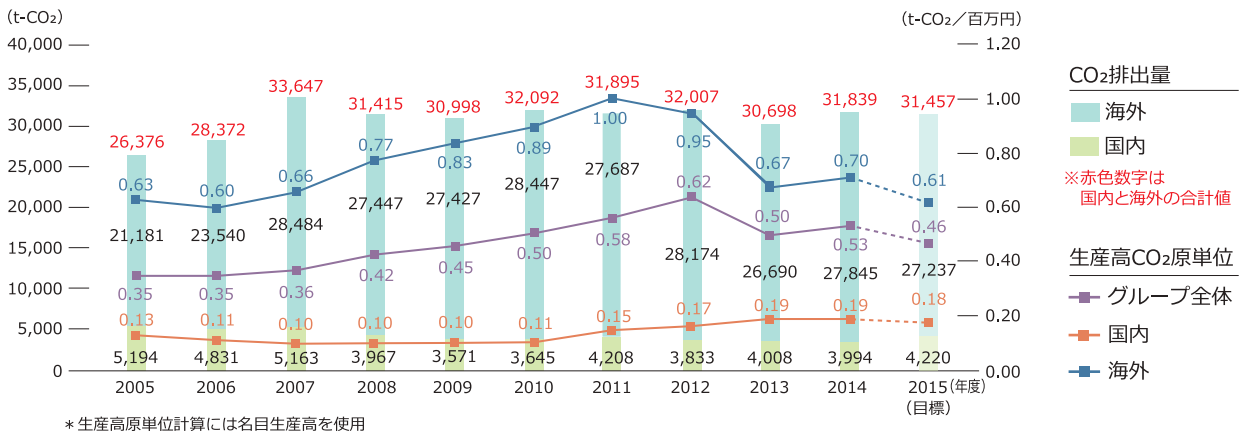
省エネルギーへの取り組み

- ◎環境保全活動総括で示したように、2014年度は、名目生産高で見る生産高原単位（前年度比106%）、排出量（前年度比104%）ともに増加となりました。その主因は環境保全活動総括で記述したとおりです。
- ◎SMKでは、基準年(2005年度)以降、社内での一貫生産による生産性向上を目的に、部材加工（成形、プレスなど）の内製化（外部委託から移行）を推進しております。その内製化起因のCO₂排出増加量を除いた実質排出量や実質生産高（物価や為替レート変動の影響を抑え算出）原単位におけるエネルギー効率を評価しております。（下の参考グラフ）

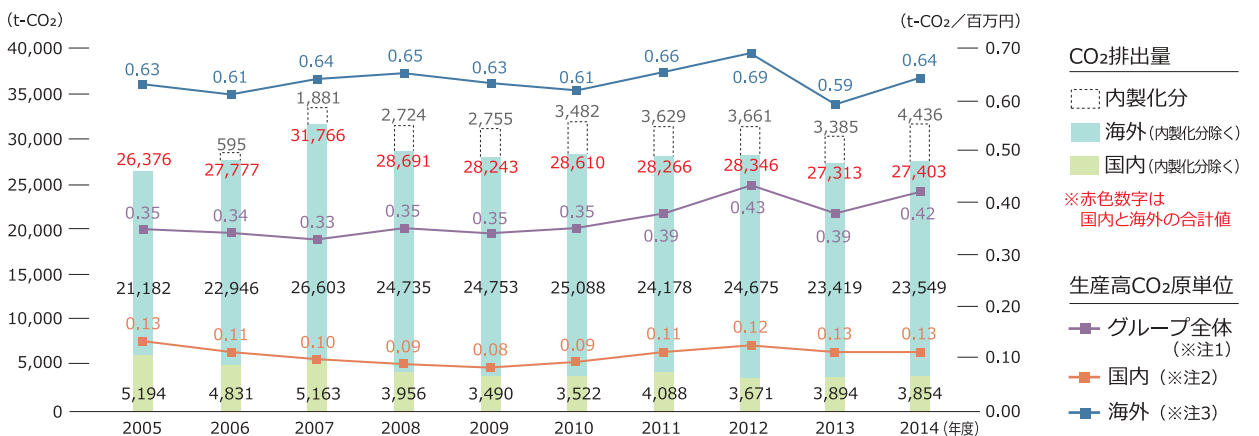
エネルギー消費が大きいクリーンルームでの製造が必要であるタッチパネルの生産が、基準年と比較すると倍増していることを考慮するとエネルギー効率は改善基調にあります。

	前年度実績比	
	国内	SMKグループ全体
生産高CO ₂ 原単位 (名目生産高)	100%	106%
CO ₂ 排出量	100%	104%

CO₂排出量推移&名目生産高原単位推移



参考：CO₂実質排出量推移&実質生産高原単位推移



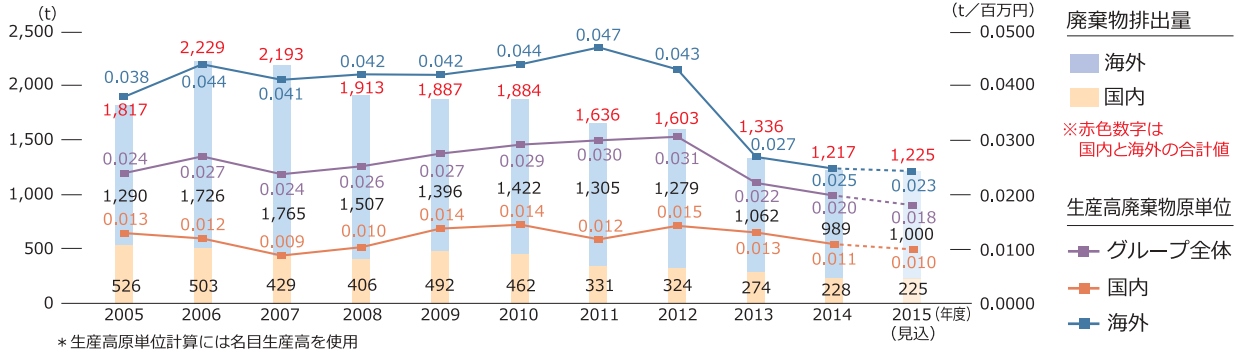
* CO₂実質排出量推移とは内製化起因による増加分を除いた排出量の推移
 * 生産高原単位計算には実質生産高を使用
 (※注1) グループ全体：国内と海外の実質生産高を合計して算出
 (※注2) 国内：日銀公表の国内企業物価指数に考慮して生産高算出
 (※注3) 海外：2005年（基準年）の為替レートを用いて円換算し生産高算出

省資源への取り組み

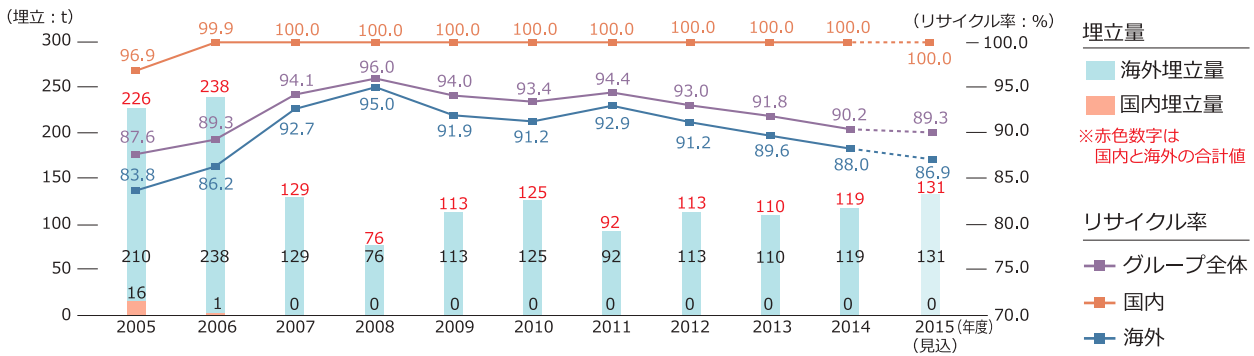
- 廃棄物排出については、2013年度に引き続き生産高廃棄物原単位(前年度比91%)、廃棄物排出量(前年度比91%)とも、両指標において改善することができました。
- 埋立処分量は、海外生産事業所において2012年度から実施したガラス屑のリサイクル化により抑制を図りましたが、若干増加(前期比 108%)となりました。

	前年度実績比	
	国内	SMKグループ全体
生産高廃棄物原単位(名目生産高)	85%	91%
廃棄物排出量	83%	91%
リサイクル量	83%	90%
埋立処分量	—	108%

廃棄物排出量



埋立処分量とリサイクル率



環境会計

環境保全コストと効果

金額単位：百万円

コスト分類	主な取り組み内容	環境保全コスト				経済効果		環境保全効果(物量)		
		投資額		費用額		削減量		前年度比		
		金額	前年度比	金額	前年度比	金額	前年度比			
事業エリア内コスト	公害防止	0.3	1%	34.7	150%	0	—	環境負荷物質 使用量15.3t	—	
	地球環境 保全	120.4	1147%	52.8	118%	18.4	474%	生産高CO ₂ 原単位 ▲0.026t-CO ₂ /百万円	—	
	資源 循環	0	—	24.2	95%	82.1	160%	埋立処分量▲9.1t 生産高廃棄物原単位 0.0016t/百万円	17%	
	小計	—	—	120.6	188%	111.7	119%	100.6	182%	—
上・下流	グリーン購入の推進等	0	—	0.3	204%	0	—	—	—	—
管理活動	製品への環境負荷物質非含有保証活動 環境マネジメントの教育、認定取得活動等	0	—	183.9	101%	0	—	—	—	—
研究開発	工口製品開発の推進等	0	—	24.6	115%	0	—	—	—	—
社会活動	事業所内緑化活動等	0	—	7.5	116%	0	—	—	—	—
環境損傷	—	0	—	0	—	0	—	—	—	—
合計	—	120.6	178%	328.1	108%	100.6	182%	—	—	—

省エネルギー・省資源活動トピックス

太陽光発電所 完成のご報告

2014年7月にひたち事業所 北茨城太陽光発電所 (容量320kW)が完成し、発電が開始されました。太陽光パネルにはSMKの太陽電池モジュール用コネクタが使用されています。

7月～3月までの9か月間で発電実績は21.7万kWh、予測発電量の107.6%となり順調に稼動しています。CO₂の削減効果は68.5t-CO₂*です。

また、国内子会社所有の建物屋上にも容量950kWの太陽光発電システムが設置されています。

今後も、クリーンエネルギーの発電およびエコ商品の拡販によりCO₂の削減に貢献していきます。

*太陽光発電協会業界自主ルール:0.3145kg-CO₂/kWhで換算



開所式



国内子会社所有建物 太陽光発電システム



ひたち事業所 北茨城太陽光発電所

工場見学会の実施

SMK 東莞 (中国)

2014年8月に従業員のご家族を対象とした工場見学会を実施しました。学校が夏休みに入っていたため、多くの子供たちが参加してくれました。歓迎会の後、私たちからのささやかなプレゼントを手にした子供たちは大喜び。その後の製造工程の見学、製品説明では積極的な質問を受けました。表面処理排水の処理施設の見学時には、環境汚染物質の排出防止についての取り組みを説明しました。

美しい環境を守るため、企業や私たち一人ひとりの環境保全への取り組みが大切だということを、見学会を通じて子供たちに感じ取ってもらえたと思います。



グリーンカンパニーの認証取得に向けて

SMK メキシコ

現在、メキシコ連邦政府によるプログラム「グリーンカンパニー」の認証取得に向けて活動しています。SMKメキシコがあるバハ・カリフォルニア州ティファアナには約570社の製造業がありますが、グリーンカンパニーの認証取得はとも重要視されています。

政府認証は社会的責任を果たす企業としてのコーポレート・アイデンティティとなり、新たな経済効果や企業価値を生み出すことに繋がります。

既に第三者機関による監査は合格しており、最終プロセスである政府機関（PROFEPA）の監査を7月に受ける予定です。



第三者機関による監査（合格）

植樹活動／梱包材料のリサイクルで社会貢献活動

SMK フィリピン

植樹活動

フィリピン環境天然資源省（DENR）とタイアップし、植樹活動を行いました。

社内募集で選ばれたSMKフィリピンの環境スローガン「変えよう少しだけ、始めよう今すぐに」をプリントしたTシャツを着て、快晴の空の下、心地よい汗をかきながら合計で1,360本の苗木を植えました。苗木は成長し、20年間に約264tのCO₂を吸収すると推定されます。

次世代により良い環境を残すことができればと願い、今後もこのような活動を継続していきたいと思えます。



梱包材料のリサイクルで社会貢献活動

近郊の小学校に、スクールチェアとお絵描き帳を寄付する活動を継続しています。

スクールチェアとお絵描き帳は、主力製品であるタッチパネル用ガラス梱包の木箱と保護紙をリサイクルし、従業員が製作しています。

進呈の際は小学校を訪れて、子供たちにごみの分別方法を説明し、資源の大切さを学ぶ時間を設けています。

この活動は地域や政府教育省から賞賛を受け、地方紙やテレビなどのメディアでご紹介いただきました。

従来、廃棄処分されていた物が子供たちを笑顔にさせる物に生まれ変わるという喜びは、従業員の環境保全に対する意識の向上に繋がっています。



ラジオ局で収録



250脚以上の椅子を作りました

環境に配慮した製品づくり

太陽電池モジュール用コネクタ

太陽電池モジュール間を接続する中継用コネクタです。独自の多点接触構造で優れた接触性能を確保します。また、独自の防水構造により、工具なしでケーブル防水処理を行う事ができ作業性にも優れています。ULおよびTÜV規格認証品です。小型化品、分岐タイプなどレパートリーを拡充しています。



LED照明用コネクタ (COBタイプ) LT-10/LT-11シリーズ

省エネ効果が期待されるLED照明のコネクタです。COBLEDパッケージ用のソケットを開発し、製品レパートリーに追加しました。

本製品は、LEDの熱をヒートシンクへ放熱させる下カバーと上カバーの2部品で構成され、組立作業性、信頼性の大幅向上に寄与する構造になっています。



高速伝送対応FPCコネクタ 「EN-31シリーズ」

信号伝送速度の高速化が進むデジタル家電やIT機器の高速伝送に対応した0.3mmピッチFPCコネクタです。高速インターフェイス規格である「MIPI/D-PHY」規格をクリアしており、モバイル機器の高速伝送化に適しています。

RoHS指令、およびハロゲンフリーを考慮した設計、材料選定を行っています。



Micro USBコネクタ(スプリング端子)

スマートフォン・携帯電話等で使用されるMicroUSBコネクタです。

基板への接続は端子を基板に押し当て接触するスプリング端子とし、はんだを使わない方式を採用しています。

RoHS指令、およびハロゲンフリーを考慮した設計、材料選定を行っています。



ECHONET Lite対応 有線LANアダプター（壁埋め込みタイプ）

ECHONET Lite規格に対応したミドルウェアアダプターです。今後、省エネルギー政策により普及拡大が見込まれるHEMS・スマートハウス需要に対応した家電（エアコン、給湯器など）コントロール用のネットワークインタフェースアダプターとなります。各種節電サービスと連携し、家庭やオフィスの電力消費・環境コントロールに貢献する製品です。



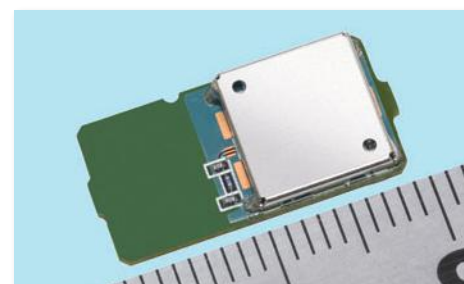
車載用 静電容量方式 OGS (One Glass Solution) タッチパネル

従来、車載用タッチパネルは、カバーパネルとガラスセンサーを光学糊にて貼合する構造が主流でしたが、今回、カバーガラス上に直にセンサー機能を取り付ける構造の開発に成功し、使用部品数を大幅削減しました。同時に、光学特性も向上し、タッチパネル裏面に搭載するディスプレイの視認性向上にも貢献しています。



無線モジュール

各種無線モジュールにパワーマネジメント機能を盛り込み、省電力化を図っています。特に、Bluetooth® Smart Module(BTS01)では、省電力に加え、小型化、軽量化で省資源にも貢献しています。



本報告書は、用紙にFSC認証林および管理された森林から製品化されたFSCミックス認証紙を用い、インキには有害なVOC（揮発性有機化合物）を排除し、ほぼ100%植物油を材料としたベジタブルインキを使用、印刷方式にはアルミ板をリユースする「マイナスカートボン・プリンティングシステムズ」を採用しています。



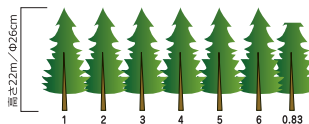
この印刷物は、E3PAのゴールドプラス基準に適合した地球環境にやさしい印刷方法で作成されています
E3PA:環境保護印刷推進協議会
<http://www.e3pa.com>



この環境報告書は、印刷プロセスで使用する6,24kgのアルミ板をリユースする事で、CO₂排出量を95.24kg削減しました。



当CO₂削減認定は株式会社日本スマートエナジー社がこの印刷システムを厳格・公正に審査・確認して与えられたものです。



95.24kgのCO₂削減量とは樹齢50年(高さ22m・直径26cm)の杉の本約6.83本分が1年間に吸収するCO₂量に匹敵します。

(出典：林業白書)



SMK株式会社

〒142-8511 東京都品川区戸越6丁目5番5号

TEL : (03) 3785-5058(環境室) FAX : (03) 3785-0517 ホームページアドレス <http://www.smk.co.jp/>

2015年7月発行